

**CASBEE-建築(新築)2014年版**  
**(仮称)日本電産本社アネックス新築工事**

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.01)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.1</b>
<b>Q1 室内環境</b>			0.40					<b>3.2</b>
<b>1 音環境</b>		3.2	0.15	3.0	1.00			3.1
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40			
1.2 遮音		3.0	0.40	3.0	0.40			
1 開口部遮音性能		3.0	0.80	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能		3.0	0.20	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	3.0	0.20			
1.3 吸音	天井:岩面吸音板、床:タイルカーペットの採用	4.0	0.20	3.0	0.20			
<b>2 温熱環境</b>		3.0	0.35	3.0	1.00			3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50			
1 室温		3.0	0.38	3.0	0.57			
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43			
3 ソーン別制御性		3.0	0.37		-			
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	0.20			
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30			
<b>3 光・視環境</b>		3.1	0.25	3.3	1.00			3.1
3.1 屋光利用		1.8	0.31	4.2	0.30			
1 屋光率	寄宿舍部:屋光率1.25%以上に計画	1.0	0.58	5.0	0.60			
2 方位別開口			-		-			
3 屋光利用設備		3.0	0.42	3.0	0.40			
3.2 グレア対策		2.0	0.20	3.0	0.30			
1 屋光制御		2.0	1.00	3.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.16	3.0	0.15			
3.4 照明制御	作業単位で照明制御かつ端末にて調整が可能	5.0	0.33	3.0	0.25			
<b>4 空気質環境</b>		3.7	0.25	3.6	1.00			3.7
4.1 発生源対策		4.0	0.50	4.0	0.63			
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆を採用	4.0	1.00	4.0	1.00			
4.2 換気		3.0	0.30	3.0	0.38			
1 換気量		3.0	0.36	3.0	0.33			
2 自然換気性能		3.0	0.28	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.36	3.0	0.33			
4.3 運用管理		4.1	0.20		-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.42		-			
2 喫煙の制御	ビル全体の禁煙	5.0	0.58		-			
<b>Q2 サービス性能</b>			0.30					<b>3.4</b>
<b>1 機能性</b>		3.4	0.40	3.4	1.00			3.4
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	3.0	0.60			
1 広さ・収納性		3.0	0.17	3.0	0.50			
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.17	3.0	0.50			
3 バリアフリー計画		3.0	0.66		-			
1.2 心理性・快適性		4.0	0.30	4.0	0.40			
1 広さ感・景観	寄宿舍:天井高2.5m以上	3.0	0.18	4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペース+自動販売機置場を計画	5.0	0.18		-			
3 内装計画	ハース・模型等での検討	4.0	0.64	4.0	0.50			
1.3 維持管理		3.5	0.30		-			
1 維持管理に配慮した設計	内装計画6項目に配慮	4.0	0.50		-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		3.4	0.30					3.4
2.1 耐震・免震		3.0	0.50					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.7	0.30					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	アルミカーテンウォールを採用	5.0	0.20					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	タイルカーペットを採用	5.0	0.10					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	各ダクトの仕様にて配慮	4.0	0.10					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20					

2.4 信頼性			4.4	0.20		-	
1	空調・換気設備	取組項目4項目に配慮	5.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備	取組項目4項目に配慮	5.0	0.20		-	
3	電気設備	取組項目3項目に配慮	4.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備	取組項目4項目に配慮	5.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			3.3	0.30	3.3	1.00	3.3
3.1 空間のゆとり			4.3	0.25	3.6	0.50	
1	階高のゆとり	事務所部:基準階高3.9m以上にて計画、寄宿舎部:基準階高3.7m以上にて計画	5.0	0.38	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.1≤0.3にて計画	4.0	0.62	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.25	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.49		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)				0.30			2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30		-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性							3.5
LR1 エネルギー				0.40			3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制			5.0	0.20		-	5.0
2 自然エネルギー利用		評価項目1項目に配慮	5.0	0.10		-	5.0
3 設備システムの高効率化		BEI <sub>m</sub> 非住宅 0.93 住宅(専有部) 0.83	3.0	0.50		-	3.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)			3.0	1.00		-	
集合住宅の評価(3c)						-	
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
集合住宅の評価						-	
4.1	モニタリング					-	
4.2	運用管理体制					-	
LR2 資源・マテリアル				0.30			3.3
1 水資源保護			3.8	0.20		-	3.8
1.1 節水		節水型便器を採用	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.7	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無	雨水利用にて計画	4.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.60		-	3.3
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		ビニル床シート、化粧音板	4.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		OAフロアの採用	4.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20		-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70		-	
1	消火剤		-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50		-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境				0.30			3.5
1 地球温暖化への配慮		駐車場計画に配慮	5.0	0.33		-	5.0
2 地域環境への配慮			2.5	0.33		-	2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.3	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		-	-		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33		-	
3	交通負荷抑制	駐車場計画に配慮	4.0	0.33		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33		-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33		-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	1.00		-	
2	振動		-	-		-	
3	悪臭		-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		-	-		-	
2	砂塵の抑制					-	
3	日照障害の抑制		3.0	1.00		-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70		-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	